

## 一人はみんなのために、みんなは一人のために！2学期終業式

【校長先生のお話から抜粋】 昨日あった嬉しい出来事を話します。

その組では「雨にも負けず」をクラス全員が合格しようと、2学期からみんな練習をしてきました。そして遂にあと一人というところまでできました。

ところが、最後の一人の友だちがなかなか合格できません。何回も挑戦しますが、いつも途中で言えなくなってしまいました。それから長い間その子は来ませんでした。もうあきらめたのかな・・・とっていました。すると、昨日久しぶりにやって来ました。そして周りにはたくさんの友だちと一緒についてきました。

さあいよいよ始まりです。校長室がシーンとなりました。周りの友だちは、その子が暗唱するのをじっと聞いています。中には胸に手を当てて祈っている人もいました。そして、ついに最後・・・「そういうものに 私はなりたい」と言って終わりました。周りの友だちから歓声と大きな拍手が起きました。合格です。私は本当に良く頑張ったなあと思いました。でも頑張ったのはその子だけではありません。「絶対に全員が合格する」それがこのクラスの夢でした。そしてそのために学級の友達みんなが応援し、協力しました。

このクラスの姿を見て、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉を思い出しました。仲良しになるという事は、一つの目標のために全員が同じ方向を向いて、みんなが頑張ることなんだなあと思いました。

【児童代表の発表】



1年松組諏訪りあんさん「マラソンの練習はとってこくるしかかったけれど、最後まで走りぬけました。」

1年竹組角田六弦さん「ドッジボールは、家でお兄ちゃんと練習していたら、強いボールが投げられるようになって、すきになりました。」

1年梅組土屋歩睦さん「6年生と火のなかに入れたやきいも。ほっぺた

が落ちるくらいおいしかったです。」

5年松組宮島美奈さん「まだ少し声が小さいけれど、地域の方、友だち、先生にあいさつができて良かったです。」

5年竹組塚原治美さん「習った漢字を使い、重要だと思った部分は、マーカーなどを使って見やすいノートになるように頑張りました。」

5年梅組藤井彩香さん「計算ドリルやわく問をみんなに追いつこうという気持ちで、一日15ページもやりました。」

## 「笑顔とありがとう」の三学期に！ 3学期始業式



【校長先生のお話から抜粋】 三学期は屋代小が笑顔で包まれ、日本中が笑顔で包まれ、世界中が笑顔で包まれるといいなあと思いました。また、休み中に校舎を歩きながら、あと少しで学校の1年も終わりだななあと思いました。1年間、お世話になった友達や先生、学校・教室・靴箱・体育館・・・お世話になったすべてに「ありがとうございました」と言って終われる・・・そんな三学期にしたいなあと思いました。だから三学期は「笑顔とありがとう」の三学期にしたいと思います。



【児童代表の発表】 8人の代表者が三学期頑張りたいことを発表しました。2年松組石黒友香さん「縄跳びです。その中でも一番できるようにになりたいのは、サイドクロスと二重跳びを15回以上できるようにすることです。」 2年竹組依田涼我さん「国語です。2学期『わたしはおねえさん』の授業のプリントがよくできなかったからです。2つめは、忘れ物をしないことです。」 2年梅組奈良本真葉さん「発言をたくさんすることです。答えが合っているか自信がなくて手をあげることがあまりなかったので、3学期は思い切って手をあげたいです。」 3年松組唐木田茉桜さん「縄跳びの二重跳びを30回こすことです。前まわしや後ろまわしはできるけど、二重跳びだけ長く続けてできなくてくやしい思いをしましたからです。毎日練習をしたいと思います。」 3年竹組伊東宏起さん「読書です。家ではテレビを見ないで、読書をするように心がけたいので、3学期の目標は1週間に3回以上図書館に行くことです。」 3年梅組佐藤瑞希さん「ローマ字が苦手で、読んだり書いたりすることが大変だったので、3学期は自主勉強でローマ字の復習をたくさんしたいと思います。」 6年松組鴉沢陸さん「中学に行くためにきちんとした生活を送りたいです。誰が見ても読めるきれいな字を書く。朝6時半には起きて生活習慣を良くする。先生、友だち、地域の人にあいさつをする。」 6年竹組清滝司さん「友だちを大事にすることです。中学校に行っても、東小学校の人たちと仲良く遊んだりしたいと思います。今のうちから男女関係なく遊んだりして、みんなと友だちになっていきたいです。」

### 雪かきに励む子どもたち 1/9

5・6年生が校舎周辺の雪かきをしてくれました。保護者や地域の皆様にも朝早くから、通学路の雪かきをしていただきありがとうございます。

